【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2002-207180(P2002-207180A)
【公開日】平成14年7月26日(2002.7.26)
【出願番号】特願2001-334181(P2001-334181)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｂ　26/00
　Ｂ８１Ｂ　 3/00
　Ｇ０２Ｂ　 5/28
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｂ　26/00
　Ｂ８１Ｂ　 3/00
　Ｇ０２Ｂ　 5/28

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月28日(2004.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
同調可能な光学共振器において、第１の反射鏡と第２の反射鏡を備え、前記第１の反射鏡と前記第２の反射鏡が、所定距離だけ離れて配置され、少なくとも前記第２の反射鏡に対して加えられる力が、前記反射鏡間の前記距離を変化するように、前記第１の反射鏡と前記第２の反射鏡が、互いに離間して取り付けられ、前記共振器が、波長λ_0に中心を備えた共鳴応答曲線に特徴付けられた共鳴を備えているようにした光学的なキャビティと、前記応答曲線内の波長λ_1を備えた同調光信号を発生させる光源と、前記同調光信号を受け、前記同調光信号が前記第１および第２の反射鏡間で反射されるように、前記同調光信号が前記光学的なキャビティに導かれ、前記同調光信号が、$\lambda_1 > \lambda_0$としたとき、前記共鳴応答曲線の前記波長をλ_1にシフトさせるのに十分な光を提供している光入力ポートとを含むようにしたことを特徴とする同調可能な光学共振器。
【請求項２】
前記同調光信号が、λ_0とは異なる波長を有しているようにしたことを特徴とする請求項１に記載の共振器。
【請求項３】
前記共振器が、$N\lambda_1 = M\lambda_2$、Ｎ、Ｍが、正の整数、$N \neq M$としたとき、波長λ_2を備えた光信号を処理し、及び、前記共振器が、更に、波長λ_1の光を遮断して前記同調光信号を処理された前記光信号から分離するフィルタを有することを特徴とする請求項１に記載の共振器。
【請求項４】
更に、前記共振器を出る光をモニタし、前記同調用光源の波長を変化させてモニタされた前記光の波長を所定の値に維持するようにした回路を有しているようにしたことを特徴とする請求項１に記載の共振器。